

JISA Awards 2014 応募要領

一般社団法人情報サービス産業協会

1. 「JISA Awards 2014」について

(1) 趣旨

JISA は、構造改革と IT イノベーションにより、知識集約型社会を実現し、我が国の国際競争力向上に貢献することにより、業界地位の向上及び業界ブランドの確立を目指している。

そのためには、JISA 会員各社が切磋琢磨し、独創的かつ国際的に通用する質の高い技術・ノウハウ・製品・IT サービスの創造に鋭意取り組んでいくことが重要になる。

また、JISA 会員各社が経営高度化を図り、マネジメントシステム及び諸制度を改革し、グローバルにその先進性を示すことにより、名実ともに魅力ある産業としての基盤を築いていくことが必要になる。

そこで、JISA は平成 23 年度に表彰制度「JISA Awards」を新設し、上記取組を奨励・促進するとともに、その成果を業界内外に示すことにより、情報サービス産業の存在感と重要性を広く社会に情報発信していくこととなった。

(2) 表彰の内容

独創性¹が高く、国際的に通用するシステム²の創造者（組織、チーム等含）を表彰する。

(3) 選考のポイント

①新規性、②進歩性、③発想の原点、④国際通用性の 4 点について、応募フォームの記入内容やプレゼンテーションの内容を判断し選考する。

¹ ここで言う「独創性」とは、(1)部分が既存でアセンブリしたシステム全体が創造であること（改善）、(2)部分もシステム全体も創造であること（改革）、のいずれかを満たすこととする。

² ここで言う「システム」とは、(1)情報通信システム、ソフトウェア、IT サービス、IT プロダクト、及びその開発・運用のための要素技術・業務ノウハウ、管理技法等、情報サービス産業全般で行われる情報システムのライフサイクル全般における生成物及び知的財産・ノウハウ、(2)IT 企業の経営全般に亘るマネージメントの仕組み・制度全般とする。

2. 表彰対象

表彰対象は、「顧客に提供する情報サービス」もしくは「IT 企業の経営の仕組み・制度」であり、前者ではビジネスモデル、開発・運用技術・ノウハウ、マネージメントの各側面のいずれか、後者では人事労務、財務、法務、CSR の各側面のいずれか、このなかの少なくとも1つ（複数でも可）に該当するものとする。

表彰対象システム ³	評価の側面		表彰対象者の要件
【A類】 顧客に提供する情報サービス ⁴	(イ)ビジネスモデル	ITを活用したビジネスモデル	1.システムの創造者 又は創造者が所属する 団体・企業であること。 2.システムの創造者が 所属する企業・団体が JISA 会員であること
	(ロ) 開発 ⁵ ・運用技術・ノウハウ	基盤技術、統合技術 業務ノウハウ	
	(ハ)マネージメント	生産管理(標準化等を含む)	
		対顧客関連マネージメント ⁶ 対協力会社関連マネージメント	
【B類】 IT企業の経営の仕組み・制度	(ニ)人事労務	評価システム、給与体系、教育体系、人材育成、労使関係等	
	(ホ)財務	経営指標、M&A、資本政策等	
	(ヘ)法務	コンプライアンス、知財管理等	
	(ト)CSR	社会貢献、環境問題への取り組み、広報活動等	

3. 応募資格

JISA 会員（子会社及び団体会員傘下企業を含む。）

4. 募集期間

2013年8月19日(月)～10月31日(木)

³ 2012年10月1日から2013年9月30日までに顕著な実績・成果を収めたシステム（情報サービス、仕組み・制度等）を対象とする。

⁴ (1) 「顧客に提供する情報サービス」には、「情報サービス（情報通信システム、ソフトウェア、ITサービス、ITプロダクト等）自体」及び「情報サービス提供の仕組み」が含まれる。
(2) 表彰対象は、ITサービスや仕組みの「創造者」本人又は「創造者」が所属している企業とする。顧客と主契約の企業が支援した企業かは問わない。

⁵ パッケージを含む

⁶ 「対顧客マネージメント」には、販売管理、契約管理（価格体系、契約体系、変更、検収条件、見積方法等）等が含まれる。

5. 応募方法

(1) 提出する書類

応募の際に提出いただく書類は、以下のとおり。

①JISA Awards 2014 応募シート

別紙の様式に所定事項を記入。特に、応募システムの独創性・国際通用性が判断できるよう、新規性、進歩性、発想の原点、国際通用性の欄について十分な説明を行うこと。

②添付書類

応募事例の詳細を説明するもの（様式等は自由）。

(2) 書類の提出方法

郵送（宅配便、メール便等を含む。）又はEMAIL

(3) 書類提出先・お問い合わせ先

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-8-1 日東紡ビル9階
一般社団法人情報サービス産業協会 「JISA Awards 2014」事務局
TEL 03-6214-1121 EMAIL awards@jisa.or.jp

6. 審査

(1) 体制

審査は、外部有識者で構成する「JISA Awards 選考委員会」において厳正・公正に行われる。

※選考委員会メンバー（予定）

委員長 坂村 健 東京大学大学院情報学環 教授

委員 青山 幹雄 南山大学情報理工学部 ソフトウェア工学科 教授

〃 土井美和子 株式会社東芝研究開発センター首席技監

〃 立石 譲二 独立行政法人 情報処理推進機構 理事

〃 夏野 剛 慶應義塾大学政策・メディア研究科 特別招聘教授

(2) 手順

①書類選考（11月末まで）

応募書類について、主に、新規性、進歩性、発想の原点、国際通用性の欄の内容から、応募システムの独創性・国際通用性を選考委員会が判断し選考する。書類選考を通過した応募システムは、最終選考へと進む。

②最終選考（12月中下旬）

選考委員会において応募システムのプレゼンテーションを行う。その後、選考委員会にて総合的な審査を行い、受賞者を決定する。

7. 審査結果の発表

「JISA Awards 2014」受賞者は、本人に通知するとともに、プレスリリースを配信しウェブサイトに掲載⁷する。

8. 授賞式・受賞記念講演会

2014年年初に「JISA Awards 2014」の授賞式を行い、受賞者には楯を授与する。併せて、有識者による記念講演とともに、受賞者等が受賞システムの概要や創造を成し得たポイントについてアピールする場を設ける。

9. 受賞者・企業の特典

- (1) 「JISA Awards 2014」受賞者・企業はJISAの行事やJISA会報・協会案内パンフレット・JISAウェブサイト等の媒体で紹介される。
- (2) 「JISA Awards 2014」受賞のロゴマークを使用できる⁸。

10. スケジュール（予定）

募集	: 8月19日～10月31日
書類選考	: 11月末まで
プレゼンテーション、本審査	: 12月中下旬
授賞式・受賞記念講演会	: 2014年年初（1～2月頃）

⁷ 応募書類等の記載内容に事実と異なることや他の権利などの侵害があると判明した場合など、発表後であっても入賞を取り消し、又は、留保することがある。

⁸ 詳細は6ページ参照

【参考】「JISA Awards」ロゴマーク〈ホルスの眼〉



■デザインコンセプト

ホルスとは、エジプト神話に登場する最も偉大な天空と太陽の神の名称であり、王のシンボルとも言われています。エジプトの神々の中で最も古く、最も多様化した神としても知られています。

本案のモチーフとなる“ホルスの眼”は、時代の流れに合わせ柔軟に変化、再構築されていくホルス神の多様性、拡張性に、テクノロジーの変遷を重ね合わせイメージされています。さらに、ホルスは幼児神と“太陽の子供”の要素を持つと言われており、「JISA Awards」が革新的な創造を見守るとのメッセージをデザインに込めています。また、眼球に地球をシンボリックにデザインすることにより、「JISA Awards」が国際通用性を評価するものであることを表現しています。